

2019 海域港湾空港技術報告会 in 福岡

(地盤工学会 CPD プログラム認定)

海域・港湾・空港を取り巻く様々な課題解決に向けて、近年、民間企業、大学、国など産官学の協働による技術開発が全国各地で活発に行われています。本報告会は全国的に高い評価を得ている最先端の技術開発の現状や九州・下関地区で取り組まれている最新の技術情報等を関係者間で広くかつタイムリーに共有することで、課題解決に向けた技術開発の促進に寄与することを目的として開催するものです。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

写真：小名浜マリブリッジ(平成 29 年度土木学会田中賞受賞)
東北地方整備局 小名浜港湾事務所 提供

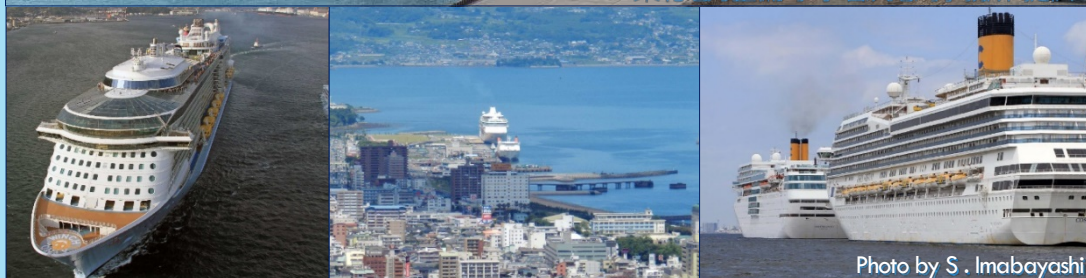


Photo by S. Imabayashi

日時 2019年2月13日(水) 13:00~17:50 (12:30開場)

場所 ハイアット リージェンシー 福岡 2F リージェンシーボールルーム
福岡県福岡市博多区博多駅東 2-14-1 Tel : 092 (412) 1234

主催:九州地方整備局港湾空港部、九州大学大学院工学研究院海域港湾環境防災共同研究部門

共催:(公社)地盤工学会九州支部、九州大学学術研究・産学官連携本部、(一財)沿岸技術研究センター、(一財)港湾空港総合技術センター、特定非営利活動法人研究機構ジオセーフ、博多港ふ頭株式会社、(一社)日本埋立浚渫協会、(一社)港湾技術コンサルタンツ協会、九州港湾空港建設協会連合会



問い合わせ先

国土交通省九州地方整備局港湾空港部 海洋環境・技術課 (担当: 本田、藤井、小池)
TEL 092(418)3380 FAX 092(418)3032

2019 海域港湾空港技術報告会 in 福岡 プログラム

開会あいさつ

13:00～ 稲田 雅裕 (九州地方整備局 副局長)

第Ⅰ部 基調講演

13:05～13:35 拡張パナマ運河の技術的課題と取り組み
善 功企(九州大学 名誉教授)

第Ⅱ部 全国の先進的土木技術の紹介

13:35～14:15 石炭灰造粒物を用いた水域底質改善材の開発<平成30年度文部科学大臣表彰科学技術賞受賞>
日比野 忠史(広島大学大学院工学研究科 准教授)

14:15～14:55 小名浜マリブリッジ～100年後も健全な橋梁を目指して～<平成29年度土木学会田中賞受賞>
尾崎 精一(国土交通省 東北地方整備局 小名浜港湾事務所 所長)

～ 休憩 ～

第Ⅲ部 産官学の技術展望

15:05～15:25 共同研究部門の活動紹介および航路維持管理
中川 康之(九州大学大学院 工学研究院 海域港湾環境防災共同研究部門 教授)

15:25～15:45 港湾荷役機械の劣化故障の減少のための数値管理手法
日吉 一洋(博多港ふ頭株式会社 メンテナンス事業部 部長)

15:45～16:05 九州地方整備局で運用する高潮・波浪推算システムについて
濱野 吉章(下関港湾空港技術調査事務所 技術開発課 係長)

16:05～16:25 将来の気候変動を考慮した高潮予測に関する検討
橋本 典明(九州大学大学院 工学研究院付属アジア防災研究センター 教授)

～ 質疑応答および休憩 ～

16:40～17:00 海上起重機船作業におけるGPSを用いた施工管理について
九州港湾空港建設協会連合会 推薦
川北 博輝(深田サルページ建設株式会社 九州支店 工事課 課長)

17:00～17:20 大分港海岸における新技術(楕円鋼矢板工法)の導入について
(一社)港湾技術コンサルタンツ協会 推薦
鶴田 賢司(パシフィックコンサルタンツ株式会社 九州支社
九州国土基盤事業部 港湾室 技術課長)

17:20～17:40 消波工の測量点群を用いた消波ブロックのソリッドモデリング技術
(一社)日本埋立浚渫協会 推薦
橋田 雅也(株式会社不動テトラ 総合技術研究所 材料・構造研究グループ)

～ 質疑応答 ～

閉会あいさつ

江頭 和彦 (NPO 法人研究機構ジオセーフ 監事)